



立志プロジェクト2022 通し第8回

少人数クラス8組(演習)第5回:書評セッション

2022年5月9日(月)

リベラルアーツ研究教育院(ILA) 教授 中野民夫
tamio.nakano@me.com

(確認)

立志プロジェクト2022授業日程一覧

木曜の講義を受けて月曜に少人数が基本
通しで全14回、少人数クラス(演習)は9回

【演習(少人数)】(月)zoom生

- 4/11 : **ガイダンス**
- 4/18 : 池上ふりかえり
- 4/25 : 隠岐ふりかえり
- 5/2 : 永野ふりかえり
- **5/9 : 書評セッション**
- 5/16 : 須田ふりかえり
- 5/23 : 小川ふりかえり
- **5/30 : 最終プレゼン**

【講義】(木)までに動画配信

- 4/14 : 池上彰先生
- 4/21 : 隠岐さや香先生
- 4/28 : 永野三智先生
- 5/5 : 休み
- 5/12 : 須田桃子先生
- 5/20 : 小川公代先生
- **5/26 : 少人数クラス**

前回5/2のフィードバックから

- あまり明るい話題ではなかったのにも関わらず、議論は活発で自分と違う意見に沢山出会えたので、ディスカッションの大切さを改めて感じた。
- 実際に様々な当事者の立場に立って考えるということをしていなかったので議論の中で実際に当事者の立場で考え、話し合うことで学びを深められた。回を重ねるごとに議論が活発になってきたので毎回楽しいと感じています。
- 一人ひとりの意見が世界を変えていくので、正しいこと、正しくないことを自分で考え伝えていく力を身につける必要を感じた。
- 利益を追求して何かを犠牲にするという行為が、考えてみると今も多く起こっているということに気づいた。

5月9日書評セッションアジェンダ

10:45-12:25

- 10:45 オリエン、書評・ピアレビューについて
- 11:00 HGでチェックイン・ピアレビュー 1
8'×4=32'
- 11:35 小休憩
- 11:40 新たな4人組顔合わせ・ピアレビュー 2
7'×4=28'
- 12:10 全体で
- 12:15 今後のこと、フィードバックシート
- *今日はGSAは来ません。
- *名前の前にホームグループ番号を入れておいて

「書評」とは

『立志ガイドブック』第4章p36-47（三ツ堀広一郎）

- 対象となった本を読んだことのない不特定多数の人に向けて、その本を紹介し、また自分の評価を述べる文章。
 - 感想文と違い、その本を読んでいない不特定多数向け。
 - ネットのカスタマーレビュー（損得勘定）とも違う。
 - 「**知的共同体**」の一員として、知的共同体に宛てて。
- 本の「**紹介**」と「**評価**」の仕方
 - ①**フレーム情報の提示**：タイトル、著者、出版社、年
 - ②**本文の要約**：十人十色、自分なりのツボ、読みどころを
 - ③**引用**：他の言葉では言えないズキョンフレーズ
 - ④**評価**：基本はほめる。知的に生産的に。+批判も

ピアレビューとは

- 「ピア」：友人や学問を共有する仲間（peer）
- 「レビュー」：文章をより良いものに仕上げるために、書き手にアドバイスする知的生産活動。
 - レビューすると、自分の文章も上手くなる。
- **目的：より良い文章を作り、主張を明確にする**
 - 本人は論理の飛躍やおかしな表現に気づかない。
 - 他人に読んでもらって初めて気づかされる機会。
 - 文や意見の批判は、人を否定しているのではない。
 - ピアは先生ではない。指摘を受け入れるかは自由。
 - 反論したくなったら→まずは相手の主張を明確に
 - オンライン：きつい批判にならないように注意

草稿のチェックポイント

1. 「紹介」と「評価」のバランス、明快さ。
2. 形式：タイトル、評者名、最初の字下げ、適切な段落替え、句読点
3. 主語と述語と対応は？冗長な文章はないか？
4. 引用した場合、出典を明記してるか？

*チャットに貼ります。

ホームグループ確認

<オブザーブ教員>

鈴木健雄・高尾隆・江原慶

→共同ホストに

<GSA> 今日はいません

田島・町田

1	1 理学院
	8 工学院
	15 物質理工学院
	22 生命理工学院
2	2 理学院
	9 工学院
	16 物質理工学院
	23 生命理工学院
3	3 理学院
	10 工学院
	17 物質理工学院
	24 環境・社会理工学院
4	4 理学院
	11 工学院
	18 物質理工学院
	25 環境・社会理工学院
5	5 理学院
	12 工学院
	19 情報理工学院
	26 環境・社会理工学院
6	6 工学院
	13 工学院
	20 情報理工学院
	27 環境・社会理工学院
7	7 工学院
	14 工学院
	21 情報理工学院
	28 環境・社会理工学院

ホームグループでピアレビュー 1

11:00-11:35 (一人8分以内×4人)

- 0.まずはチェックイン（近況・気分）。順番を決める。
- 1.「画面共有」で一人ずつ表示。本人でなく**次の順番**の人が、しっかり**音読**する。ゆっくりと噛み砕いて理解しながら読む。
 - 書いた人、恥ずかしいだろうけど、少し突き放して客観的に見てみよう。
- 2.順にフィードバック。まずは良い点から。わかりにくかったところは？言いたかった真意は？「草稿のチェック」点は？
- 書いた人は、盲点を教えてくれる相手にまず感謝。弁解・言い訳でなく、そのように感じる人がいるということを謙虚に受け取る。
 - フィードバックは読み手が主に語る時間。書き手はきこう。
 - その上で、どうしたらもっと主張や真意が伝わるのか、話し合う。
- **最後の人の時間が無くならないように皆でタイムキープ！ 11:35終了。**

どうでしたか？

ちょっと休憩

名前の前にホームグループ番号を入れておいて
新たなグループを作ります。

(ビデオオフでトイレやお茶)

新3人組でピアビュー 2

11:40-12:10

- 9分以内×3=27分 (12:10には全体に戻します)
- まず顔合わせ (チェックイン)、順番決める。
 - 迷うようなら50音順
- 今度は本人がゆっくり音読する。
- 他の3人から、順に自由に率直なフィードバックを。
 - まず良い点に触れよう、(良好な関係を築き、)
 - わかりにくい点を挙げ、自分にはどう読めた(聞こえた)かを示し、書いた人の意図や真意を探る質問を。
 - 「草稿のチェック」ポイントはどうか?
 - 改善案、できるだけ具体的に
- 書き手は話すより「聴く」に徹する。

全体で

- いかがでしたか？
- 書評セッションは立志プロジェクトの2つ目の柱、肝です。
 - リベラルアーツ、教養には読書が不可欠。1つの旅。
 - そして読みっぱなしでなく、知的共同体に書評として提供できる力を。
 - 第3章アカデミックライティングも。3年の教養卒論へ
 - これを機に、書評リスト全部読むつもりでどうぞ。
- 全体で、時間の許す限りいくつか聴いてみたい。自選・他選で、どうでしょう？

最終稿の提出について

- 最終締め切りは、5月23日（月） 23:50まで
 - できたら、なるべく早く仕上げてしまおう。
- なるべくA4一枚で、読みやすく。
- T2SCHOLAによろしく。
- できたら皆のをお互いに読めるように
Googleドキュメント?でまとめて、書評文集
的なものを作りたいと思っています。

書評の完成原稿提出について

ピアレビューでの指摘を参考にして文章を練り直し、
5/23(月)までに完成版をT2SCHOLAへ提出

課題図書リストに掲載された書籍は、
名著として広く知られたものばかりです。
今回の書評執筆で取り上げた書籍以外も、
ぜひ読んでみてください。

(引き続きリベラルアーツ図書室で貸し出し可能です)

<http://libra.ila.titech.ac.jp/>

幅広い領域の課題図書から1冊選ぶ、そのプロセスの中で
「こんな領域の学問があるんだな」「この視点はユニークだな」
といった発見もあったのではないのでしょうか。
これから始まる科目選択でも、同じことが言えます。

2Q以降に開講される科目の一覧、教授要目、シラバスには目を通しましたか？

どんな科目が開講されているのか、「こんな学問があるのか」と知るだけでも、視野が広がります。
また、自分は何に興味があるかを知ることも、大切な学びの機会になります。

● **学修案内（履修についての全体的な案内）** 「10. 文系教養科目履修案内」

人文学系、社会科学系、融合系の各カテゴリーに含まれる科目を掲載

https://www.titech.ac.jp/guide/guide_2022/gakubu1/

文系教養科目では、2～4Qにかけて、人文学系、社会科学系、融合系の各カテゴリーから1つずつ履修し、3カテゴリーの単位をそろえる必要があります。
今のうちから2～4Qで取りたい科目について考えておくことをお勧めします。
なお、文系教養科目では、履修予約制度をとっています。詳細は次ページを参照してください。

● **教授要目（科目概要の紹介）** 「I 文系教養科目」

https://www.titech.ac.jp/guide/guide_2022/gakubu2/

● **シラバス**

<http://www.ocw.titech.ac.jp/>

● **リベラルアーツ研究教育院 教員インタビュー**

<https://educ.titech.ac.jp/ila/faculty/interview/>

2022年度2Q 100番台 文系教養科目 「履修予約」実施について

- 文系教養科目では、1Qの東工大立志プロジェクトにつづき、2Qからは選択必修科目となります。「人文学系」「社会科学系」「融合系」の3つのカテゴリーからQごとに1科目ずつ、合計3科目を履修してください。
- 文系教養科目では「履修予約」制度を設けています。それぞれの科目の特性に応じて設定された受講人数で、できるだけ多くの皆さんの希望に沿った科目を履修してもらうための制度です。
- 履修予約の手続きは教務Webシステム上で行います。希望者多数の科目については抽選を行った上で、履修許可者を決定します。履修予約の手続きをしないと、希望する科目が履修できない場合がありますので必ず期間内に回答を行ってください。詳細は4月25日（月）に送られた一斉メールを確認してください。

回答期間：5月12日（木）9:00～5月19日（木）13:00まで
東工大ポータルサイトの教務Webシステム「アンケート」欄にアクセスし、回答。
履修許可科目公開：5月26日（木）9:00（予定）

履修予約実施の案内はメールでお知らせします。「～@m.titech.ac.jp」のアドレス宛に送信される、大学からのメールは必ず確認してください。※送信されたメールは、教務Webシステムトップ画面の「お知らせ」欄でも確認できます。

次回ゲスト 須田桃子先生

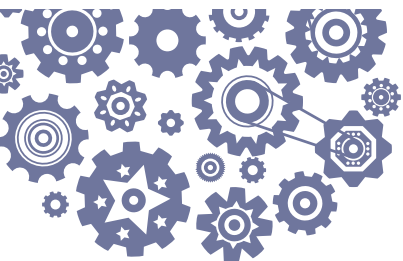
NewsPicksサイエンス担当副編集長

- 5月12日の須田桃子さんの講義動画と対談動画のURLです。
 - とっても興味深いです！
- 須田桃子さん動画「**社会の中で科学する**」
 - https://www.youtube.com/watch?v=2wl_K8vhHWg
- 須田桃子さんと柳瀬の対談動画。
 - <https://www.youtube.com/watch?v=4Q2Ke0Lr69M>
- 物理学出身→新聞社で科学部→NewsPicks
- 著書多数
 - 『捏造の科学者』 『合成生物学の衝撃』 『誰が科学を殺すのか』
- 今回、Responsible Scienceなどについて、具体的なエピソード（核兵器、クリスパー・キャス9、mRNAワクチン、他）

お薦めイベント

- ① **すずかけサイエンスデイ**
- 5月14-15日土日、2日間にわかって開催されます。
 - 学内学外の方に、東工大の研究室などの紹介がされる、新入生にとってうってつけのイベント。zoomで気軽に参加できます。（柳瀬先生：「国道16号線」について講演）
 - <https://www.titech.ac.jp/ssd>
- ② **ホームカミングデイ** 高尾先生と治部先生がご登壇されます。
- 5月21日土曜日10時～12時
 - https://www.titech.ac.jp/0/alumni/hcd/event?hm_ct=41622cacd01760e0e03b5cd4fb296327&hm_cv=5e28225ab9c011ad208aa98e90f4751a&hm_cs=294385256275aa9fc11bc5.32590232&hm_mid=m5onc#ila
 - zoom参加の申し込みサイトです。前日の5月20日まで登録可能です。
<https://zoom.us/meeting/register/tJUoduitpj0sGNCQFk8G3wzH3LKL2Nf0w7MA>
 - 理工系学生にこそ学んでほしい「リベラルアーツの真髄」を現役教員二人がレクチャーします。
 - 「インプロ（即興演劇）を通して考えるコミュニケーション力」高尾隆教授
 - 「ジェンダーバイアスに気づく」治部れんげ准教授

蔵前立志セミナー5/17のお知らせ：せっかく東工大入ったのなら出なきゃ損！



● 第20回蔵前立志セミナー（ZOOMによるオンラインセミナー）

東工大発DEEP TECHベンチャー創出を目指して

2022年5月17日(火) 18:15~20:00
ONLINE(ZOOM)



About This Seminar :

<Key Words>

Deep Techベンチャー
起業／スタートアップエコシステム
東工大の技術／社会実装／社会貢献

東工大関連ベンチャーキャピタルを起業した岡田祐之氏と、ベンチャー創出/育成に関わる卒業生複数名、そして特別ゲストとして東工大渡辺副学長に参加いただき、技術系ベンチャーの現状や取り巻く環境、将来の展開、意気込み等を伺います

参加対象者:東工大在学生・東工大卒業生・東工大教職員

参加費：無料（懇親会はありません）

申込み：

お申込みいただいた後、参加者資格を確認の上、開催日の前日までにZoom Meeting ID等をご案内いたします



<https://www.kuramae.ne.jp/kuramaerisshi/>
(5/12×切)

Speaker



岡田 祐之氏（H6金 H8修工ネ）
株式会社みらい創造機構
代表取締役社長
+ ベンチャーに関わる卒業生複数名

Special Guest



渡辺治氏（S55情科 S57修情科）
東京工業大学理事・副学長

主催： 蔵前工業会東京支部・東工大リベラルアーツ研究教育院

共催： 蔵前工業会・東京工業大学

問合せ： 蔵前工業会東京支部 事務局

kuramae-tokyo@deluxe.ocn.ne.jp TEL 03-3748-4447 (平日12:30~17:00)

最後に フィードバックシート記入

- 何か質問があれば、どうぞ
- では最後に3-4分ほど一人で振り返る時間を。
 - 今日の授業を振り返ってみて、「気づいたこと、発見したこと、学んだこと」など自由に書いて下さい。私へのフィードバックにもなります。
- フィードバックシート
 - Googleフォームを用意しました。
 - https://docs.google.com/forms/d/1qkvRRtZAqpLyUcrMIR_jAfGjm7_u1Wn1PwnGu0Ui9_E/edit
 - チャットに入れるので、URLをクリックして記入してください。